

地区別市政懇談会 当日質疑応答用紙一覧 西地区
平成26年10月31日(金) 西公民館

西中学校体育館と西公民館複合施設について(別添)

当日の質疑応答について

	質問内容	当日の回答	補足、現在の状況・今後の対応等	担当課
1	「市民生活に密着した身近な市道の整備」とあり、その表の中にこれまでの整備延長の数字があります。これまでに比べ、平成26年度は少ないと思うのですが、何かあつてのことなのでしょうか。	市内各地区においてそれぞれバランスを見ながら、各事業を進めています。西地区では平成25年度から田頭橋の架け替え事業に集中的にお金を費やしていることが要因となっています。	当日の回答に同じ。	道路整備課
2	水無川沿いの桜の管理をもう少しの方がよいのではないかと感じます。また、河川敷の手入れについても、管理状態を良くした方がいいと感じます。	<p>現在オーナー制でおかめ桜が植樹されていますが、育ちが悪いもの等もあります。観光課では定期的に確認し、枯れたり倒れたりした固体については、オーナーとも連絡を取り合い、適切な対応をとるようにしております。</p> <p>また、病害虫対策、強風や台風への対応を含め定期的に見回りするとともに、毎年3月に育樹祭を開催しています。オーナーやボランティアの皆さんの御協力の下草刈り等を実施していただき、健やかに桜が育つよう活動しており、平成26年度の育樹祭は平成27年3月15日に開催する予定です。</p> <p>また、河川敷についても、平和橋からうぐいす橋にかけて両岸に渡り、菜の花をまいておかめ桜のピンクと菜の花の黄色が映えるような景観の創出に取り組んでいます。下草刈りについても、定期的に地元有志の方等の御協力をいただいておりますが、今後も地域団体や河川管理者である平塚土木とも協議しながら取り組んでまいりたいと考えます。</p>	当日の回答に同じ。	観光課

3	西中学校体育館と西公民館の複合整備の手法で公設民営方式とありますが、公設公営に比べて費用はどの程度浮くのでしょうか。	同じ経費でも高いサービスが可能になるなどもありますので、一概に何%の効果とは言えない部分もありますが、一般的には10～30%くらいの経費削減が見込まれるということです。	従来手法(公設公営)に比べ、施設整備費及び維持管理費(10年間)の効果額として約630,000千円(約15%)を見込んでいます。	教育総務課
4	総合計画の中で、一番危機感を持って進めなければいけない項目はあるのでしょうか。また、10年の計画ということですが、どこまで計画通りに進んでいるのでしょうか。数値など目に見える形で分かる資料等はありませんか。	総合計画の4つの事業については、すべて危機感を持って取り組むべき事業として列挙しているものと捉えています。 今は前期5年計画の4年目です。これまで8割くらいの進捗と捉えておりますが、最終年で達成できるように進めてまいります。 また、数値化は確かに分かりやすいと考えますが、ソフト事業などは数値にしにくい部分がありますが、お示しできるように工夫をしていきたいと考えます。	現在の総合計画には目指そう値が設定されておりますので、この達成状況を資料にまとめていきたいと考えております。	企画課
5	西公民館と西中学校体育館の複合施設の予算はどのくらいの規模でしょうか。	事業の延べ床面積は6千㎡ほどであり、億単位の予算になりますが、今後12月予定の公募プロポーザルの開始に合わせ、お示しできるのではないかと考えます。	平成27年1月19日公表の募集要項において、施設整備費及び維持管理費(10年間)の事業費の上限額を547,000千円(消費税及び地方消費税を含まない)としています。	教育総務課

6	<p>新東名高速道路の市内の工事の進捗と、西地区区間はいつごろ工事が始まるのでしょうか。また、秦野サービスエリアにはスマートインターが設置されるそうですが、最近話を聞きません。現在の状況はどのようになっていますか。</p>	<p>市内で大きな工事が始まっているのは、北地区と東地区を結ぶの羽根トンネルです。東地区側から北地区側に向かって掘削工事が始まっています。</p> <p>西地区の状況については、用地の取得は97%完了していますが、工事については未着手となっています。工事が始まる前には対策協議会等で工事の説明を行っていくことになります。</p> <p>スマートICの設置につきましては、連結許可に向けた準備を進めており、時期は未定ですが今後地元を含めた協議会を開いて、国の方へ申請をしていく流れとなります。</p>	<p>当日の回答と同じ。</p>	<p>高規格道路 推進担当 新東名周辺 整備担当</p>
7	<p>スマートICは大型車は通過できるようになるのでしょうか。また、スマートICができるのであれば、街中を通行することになるので、安全対策はしっかりやってもらいたいと考えます。</p> <p>また、設置の費用負担はどうなるのでしょうか。大型車が通れるようであれば工事もそれなりに対応できるようにする必要が生じてしまうのではないのでしょうか。</p>	<p>全長12メートル以内の大型車が利用できるように検討しています。これは市内を通行している大型車はほぼ該当する大きさです。スマートICから県道705号周辺には保育園や小中学校等がありますので、安全対策については市道改良も含めしっかりと対応してまいります。</p> <p>サービスエリアの中にできるスマートICは国や事業者の負担となります。ICから出た先の既に計画済みの付け替え道路は、秦野市が負担する部分もあり、また、御指摘のように大型車にも対応できる舗装の厚さにする必要もありますが、できる限り国からの助成をいただき事業を進め、市の財政に負担をかけないよう進めたいと考えております。</p>	<p>当日の回答と同じ。</p>	<p>高規格道路 推進担当 道路整備課</p>
8	<p>大型車は、渋滞や安全面を考えると、街中を通行することになる秦野サービスエリアのスマートインターではなく、郊外をノンストップで通行できるよう国道246バイパスから上地区の秦野インターチェンジに接続できる整備をした方がよいと考えます。</p>	<p>(要望)</p>	<p>国道246号バイパス厚木秦野道路の早期整備に向け、引き続き国等の関係機関への働きかけを行ってまいります。</p>	<p>高規格道路 推進担当</p>

9	踏切のそばのセブンイレブン渋沢店前の道路の混み具合に危険を感じます。横断歩道の設置について要望していますが、話が進みません。	現地を確認し状況をお知らせします。	秦野警察に相談したところ、付近に横断歩道があり、また、駐車場の入り口であるため設置は難しいとの回答でした。	くらし安全課
10	市役所本庁舎は耐震基準を満たしておらず、非常時に心配です。長い目で見れば、耐震改修ではなく、新設移転も選択肢として検討するべきではないでしょうか。	現在は必要最低限の耐震改修の方向で進めています。築45年ですので、最低限の耐震改修をした上で、耐久年数はそれほど長くはない認識の下、将来的な建替えについてはその間に計画を立てた上で、皆さんに提示し、進めていくことになるかと考えます。	当日の回答と同じ。	財産管理課
11	国道246号は慢性的に渋沢付近で渋滞します。できるだけ早期に国道246バイパスが完成して欲しいという思いがありますが、今後の進捗はどのようになりますか。	これまで昭和55年から繰り返し事業化の要望活動をしてきました。ようやく平成26年度に伊勢原西IC(仮称)から秦野中井ICまでの事業化が決まりました。この区間はこれから事業説明や測量等が始まることとなりますが、具体的な日程等はまだ決まっておりません。決まりましたら、皆さんにもお知らせしてまいります。	平成27年3月に伊勢原西IC(仮称)から秦野中井IC間に関する測量・地質調査説明会が開催されている予定です。その後発注手続きを経て現地での測量や地質調査に入っていくこととなります。	高規格道路推進課
12	防災行政無線を利用して、小学生の下校時の見守りの呼びかけは出来ないでしょうか。	防災行政無線は本来の目的である災害等の緊急時、また、警察の要請で、振り込め詐欺が多発している際の注意啓発、高齢者や児童の行方不明時のお知らせなどに利用しています。日常的に利用することは、放送への騒音苦情も少なくないことから、現実的には難しいのではないかと考えます。	当日の回答と同じ。	くらし安全課 広報課

13	<p>今後団塊の世代が一気に高齢化する2025年問題があります。介護施設の不足から国は在宅介護の方針を進めています。このような情勢に対し、市としてどのような施策を考えていますか。</p>	<p>今後の後期基本計画の中で盛り込んでいきたいと考えます。</p>	<p>第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において高齢者が施設ではなく住み慣れた地域で暮らし続けるために、在宅医療・介護連携の推進や、身近な地域の中に日常生活を支援するサービスの提供体制を構築していくことなどを位置付け、取り組んでまいります。</p>	<p>高齢介護課</p>
14	<p>高齢者の健康寿命を延ばすために、高齢者が積極的に外へ出て、活動することが大切だと思います。市として、そのような場を創出し、働きかけをしていく取り組みはありますか。</p>	<p>健康寿命を延ばすことは大切なことだと考えます。地域等の力も必要ですので、地域コミュニティ等の醸成していくという考えも含め健康寿命を延ばす政策を進めていきたいと考えます。</p>	<p>高齢者の健康寿命を延ばすための取組みとしては、第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画において地域の中に役割を持って生活できるような居場所と出番作りなど、高齢者本人を取り巻く環境へのアプローチも含めた新しい介護予防事業を展開していくことを位置付け、取り組んでまいります。</p>	<p>高齢介護課</p>
15	<p>高齢者が外に出て活動することは、健康の増進につながり、医療費の削減につながるのでしょうか。公民館の利用料金の値上げは、高齢者を家に閉じこもらせ、病気になりやすくし、かえって医療費や介護費がかかるようになるのではないでしょうか。</p>	<p>公共施設の使用料を上げることが、介護保険や健康保険の市からの持ち出し分の増加につながるという関係がはっきりと数字として証明することができません。 今回の使用料の値上げは、公民館を使用されない方とのバランスの問題、将来の市民の負担軽減などに着目し見直しをさせていただいたものです。今までのように安く公共施設を使えて、そこで元気に過ごせるのが良いことなのは、その通りなのですが、市政運営全体の視点で、より多くの方が必要としているサービスに税を向けるためのこととして、御理解いただければと考えます。</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	<p>公共施設再配置推進課</p>

16	<p>公民館に使用料の値上げについて反対です。市民が活発に活動することは秦野市を活発にすることにつながるのではないのでしょうか。それは福祉につながり、まちおこしにもつながると思います。そこに税金を使うことはおかしいとは思いません。使用料値上げは考え直してもらうことを要望します。</p>	(要望)	要望として承ります。	公共施設再配置推進課
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	------------	------------